

I

出典 『日本のアニメは何がすごいのか』（津堅信之）祥伝社2014年

2016年度の問題に新たな設問を加えて出題しました。日本のアニメが世界で観られていることの背景を論じている文章です。文章自体は平易であり、内容を整理しつつ読解すれば、難しい設問ではありません。筆者の意図を丁寧に押さえつつ、客観的に読む訓練をするようにしましょう。

問1【漢字の書き取り問題】（解答番号は **1** ～ **7**）

a 特異性 **b** 現況 **c** 鑑賞 **d** 象徴 **e** 粗雑 **f** 定義 **g** 包括 がそれぞれ正答です。「現況」を「元凶」と書くなど本文の意味を考えていないと思われる答案が目立ちました。漢字は語彙力を見ることが出題の目的の1つです。漢字の練習だけでなく、普段から論説文などを読み、語彙力を増やしましょう。全問正答者は全体の3%でした。

問2【空欄補充問題・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は **8** ～ **10**）

空欄 **I** は既にあることを述べているので正答は③、空欄 **II** は放映だけでなく、字幕もという意味なので正答は⑥、空欄 **III** は前文をまとめているので正答は⑤となります。正答率は46%でした。

問3【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **11**）

2ページにある「この点」から始まる段落に注目すると、外から来た言葉であることがわかります。正答は④です。正答率は73%と比較的よくできていました。

問4【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **12**）

正答は⑥です。①・②を正解として選択している誤答が目立ちました。空欄直後の段落を踏まえれば、正答を導けます。正答率は32%でした。

問5【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **13**）

正答は④です。空欄 **乙** を含む文脈を押さえれば、特に難しくはないです。正答率は65%でした。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **14**）

指示詞の問題です。直前の段落内容だけを指しているのではなく、海外のアニメファンがアニメにのめり込んだ背景とインターネット上で違法アップロードする背景を押さえる必要があります。正答は⑤です。正答率は92%とよくできていました。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **15**）

次段落では、日本のアニメファンが用語を使い分けていることが述べられています。使い分けは一般人とは異なることがわかります。正答は⑦です。正答率は57%でした。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **16**）

傍線部 **C** を含む段落を押さえれば③が正答と導けます。選択肢①は「異なった概念として認識」、②は「この区別～行っている」の箇所がそれぞれ間違いです。正答率は43%でした。

問9【内容理解による小見出しの選択問題】（解答番号は17）

レンタルビデオ店などでどのように扱われているかということを読み取れば、正答は④であるとわかります。正答率は65%でした。

問10【内容合致問題】（解答番号は18・19）

正答は④と⑥です。完全正答率は46%でした。①は「マスメディアの影響から一般に広まり」、②は「背景にヤングアダルト向けのアニメの影響がある」、③は「ファミリーコーナーのみに置かれており」、⑤は「行為を後押ししている」、⑦は「分類することを止めようとする議論が日本で活発に行われるようになっている」、⑧は「日本とまったく同じ理由からそれらの語を使い分けているという事実がある」、以上のそれぞれの部分が本文には書かれておらず、正答にはなりません。

II

出典 『卵が飛ぶまで考える』（下村裕）日本経済新聞出版2013年

「回転するゆで卵がジャンプする」現象を例に、問題発見力の重要性を説明した文章です。本文は、問題発見力の重要性、問題発見の糸口となる視点4つの紹介、そのうち1点目「異常に気づくこと」の事例説明という構成で展開しています。難解な表現はなく、情報を整理しながら理解することができる内容です。

問1【漢字の書き取り問題】（解答番号は20～25）

a 漫然 b 類推 c 通念 d 逸話 e 収穫 f 契機 がそれぞれ正答です。全問正答者は全体の2.7%でした。漢字の書き取りは1字1字丁寧に楷書で書きましょう。部首の乱れ、字形・字体のバランスの崩れがないように書き取りましょう。

問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は26）

正答は④です。「自分が考える余地が残されて」おり、「世界で初めてその未解決の問題を解けるかもしれない」という内容に合うものを選びます。正答率は91.9%でした。

問3【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は27）

正答は④です。空欄 **ア** の直後「何かの必要に迫られる」という本文から正答を導きました。正答率は48.6%でした。

問4【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は28）

正答は⑥です。第二段落に「問題を見出す力が重要」、「自ら問題を発見する力を養うべき」とあります。正答率は83.8%でした。

問5【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は29）

正答は④です。傍線部 **B** の次の段落に「この問題も有名でありながら、なかなか解けない」とあります。正答率は81.1%でした。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は 30）

正答は⑤です。選択肢で取り上げた事例は本文中で紹介されたものですが、説明内容が一致するのは⑤だけでした。傍線部Fの2つ後ろの段落「似たような例ですが」で始まる内容がヒントです。正答率86.5%でした。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は 31）

正答は⑥です。「異常終了」の説明は、傍線部Dの段落から5つ後ろ「ということは」で始まる段落に記されています。正答率78.4%でした。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は 32）

正答は③です。傍線部Eの直後の内容から正答を導きました。正答率は73.0%でした。

問9【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は 33）

正答は①です。傍線部Fの前後の内容から正答を導きました。正答率は59.5%でした。

問10【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は 34）

正答は⑤です。傍線部Gの3段落前からの内容と合致します。正答率は86.5%でした。

問11【内容理解による小見出しの選択問題】（解答番号は 35）

正答は②です。空欄 **甲** の章では「問題を発見する力」について述べられていました。正答率は86.5%でした。

問12【内容理解による小見出しの選択問題】（解答番号は 36）

正答は④です。空欄 **乙** の章では、その前に記された「何か普通と違う異常な現象や状態に気づくこと」が説明されています。正答率は67.6%でした。

問13【内容合致問題】（解答番号は 37）

正答は⑦です。第4段落・第5段落と最終段落の内容から正答が導きました。正答率は59.5%でした。